

2024年度 事業報告書

2024年4月1日～2025年3月31日まで

特定非営利活動法人
クラーク博士別れの地・久蔵の里普及促進会
(略称：NPO法人クラーク会)

1. 2024年度の事業成果

中期4ヶ年計画の3年目となる2024年度の主な事業成果は次の通りです。

1) クラーク像建立事業 (クラーク像建立委員会)

- (1) 2022年度に旧島松駅通所前に取得した像建立用地(約100坪)の草刈りを4回行いました。
- (2) 馬上のクラーク博士像建立検討委員会で検討を重ねてきた意見を、下記の通り整理しました。
 - ・クラーク博士の容姿は、広く知られている写真をモデルとし、北大構内設置の博士胸像を参考とする。
 - ・クラーク博士のポーズは、馬上で帽子を右手に持って別れの言葉を叫んでいる様子を表現する。
 - ・馬は、史実に基づき黒鹿毛の南部馬の改良種とし、動きだしそうな躍動感のある姿勢を表現する。
- (3) これらの意見を基に、星槎道都大学教授安田画伯に描き上げて戴いた「別れを告げる馬上のクラーク博士」の絵画を基に、イラストレーター中江潤一氏によりリアルな躍動感のあるデッサン画を制作していただき、馬上のクラーク博士像の制作仕様書の作成に取り組みました。
- (4) 2025年2月に銅像制作会社3社を選定し、北広島芸術文化ホール研修室において馬上像制作仕様書に基づき入札説明会を開催しました。馬上像完成時期は2026年8月、除幕式は2026年9月として3社から見積書及び馬上像の設計図の提出を依頼しました。
- (5) 像建立用地には、2025年度春に桜の木を植樹すると共に、建立予定の馬上のクラーク博士像をイメージした看板を立てることとしました。

2) クラーク精神普及事業 (クラーク精神普及委員会)

① 一般市民及び小中学校生徒への講話の実施

- ・2024年4月17日 講演会「クラーク博士について」(ともに：28名)
- ・2024年7月2日 講演会「クラーク博士に思いを寄せて」(住民センター：35名)
- ・2024年9月6日 講演会「クラーク博士と北広島」(住民センター：27名)
- ・2025年2月19日 クラーク精神普及講話(緑陽中学校2年生：35名)

② 「第2回クラーク博士と音楽の夕べ」(講演とコンサート)を、10月3日午後6時半から札幌市時計台ホールで開催しました。

このイベントには、札幌市や北広島市などから約127名の参加があり、会場は満席となりました。講演に入る前に、藤田理事長から挨拶があり、このなかで「クラーク博士の馬上像」建立事業の進捗状況について紹介があり、参加された皆様にご寄付のご協力をお願いしました。

講演では、党会顧問である藤田正一北大名誉教授が「日本の民主主義の源流としてのクラーク精神」と題するテーマでお話をされました。

明治初期にクラーク博士がもたらしたピューリタンに端を発し、アメリカ独立戦争、南北戦争を経て磨かれたアメリカ型民主主義が地球を西回りで、中江兆民らが紹介したフランス啓蒙思想とフランス革命を経て確立されたフランス型民主主義の流れが地球を東回りで日本に流入した。

戦後民主主義教育の要となる「教育基本法」制定のための教育刷新委員会のメンバーは、新渡戸稲造、内村鑑三などの弟子たちであった。戦後民主主義と民主主義教育に与えたクラーク博士の影響は非常に大きいなどと紹介されました。

講演後は、「ホクレングリーンコール」によるコンサートがあり「NHK 朝ドラ歌謡曲集より」、「北海道賛歌メドレー」など素晴らしいハーモニーを響かせ、聴衆は初秋の夜のひと時を楽しんでいました（クラーク精神普及委員会、基金募集委員会合同事業）

③ 10月21日にバス見学ツアー「小樽の盛衰と炭鉄港」を開催しました。

当日は、市民34名の参加者がバスに乗って小樽市の歴史を学びました。小樽には江戸時代に鯨漁を主な目的にして和人が進出し、明治2年には開拓使の本庁を札幌に置くことが決定されると、札幌の外港として位置付けられました。明治8年には開拓使による東京・函館・小樽間の定期航路が開設され、明治9年にクラーク博士が来道の際にもこの開拓使の定期航路で小樽に上陸しております。

このツアーでは、小樽開発建設部小樽港湾事務所の「みなと資料コーナー」を訪れ、副所長のご案内で廣井勇と伊藤長右衛門の港湾建設技術改良とその意義の説明を受け、廣井が残した試験体ブリケットの劣化試験が今も継続されていることに感銘を受けました。また、北海道の鉄道発祥の地である旧手宮駅の構内敷地5.8haを利用して設置された小樽総合博物館の本館と、市指定歴史的建造物「旧小樽倉庫」を利用した運河館では、ボランティアの方から解説していただきました。

3) 観光振興及び活性化への貢献事業（観光振興委員会）

4月22日～26日期間で「第4回クラーク博士別れの日記念パネル展」をエルフィンパーク広場で開催しました。このイベントは、札幌農学校（現北海道大学）の初代教頭ウィリアム・スミス・クラーク博士が、1877（明治10）年4月16日に島松沢で学生達との別れで『青年よ 大志を懐け “Boys, be ambitious !”』の名言を残し、馬に乗って旅立ったことを記念して毎年開催しているものです。

今回のパネル展も星槎道都大学美術学部特任教授安田祐三画伯に描き上げていただいた、油彩画『別れを告げる馬上のクラーク博士』の紹介をメインにして、

- ① クラーク博士の教え子大島正建の著書『クラーク先生とその弟子たち』などの紹介
- ② 小中学校生徒への講話資料の紹介や講演会や見学会などの紹介
- ③ 「きたひろTV」が製作したクラーク博士に関するビデオやYouTube「桂文枝の首長さんに逢いたい」のビデオ放映
- ④ アトラクションとして、「こころ奏でる・コンサート」ギター弾き語りとエアロフォン演奏（22, 23, 25日 14時～）及び「さんちゃんと寄り添い何か開花」ラディッシュバンド演奏（24日 14時～）の協賛コンサートを行いました。5日間のパネル展でしたが、延べ428名の市民・会員に来て頂き、クラーク博士に対する関心の高さがうかがえました。

4) 広報活動及び会員拡大活動事業（広報活動委員会）

当会の活動の普及と会員拡大を図るため、会報「クラーク会だより」の発行とホームページの維持・更新を

進めてきました。2024年度は会報27号、28号、29号を発行すると共に、ホームページにより会の活動状況をタイムリーに掲載してまいりました。

また、ホームページの刷新に向け取り組み、2025年度早期に新ホームページに切り替えることとし、準備を進めました。

5) クラーク像建立及び久蔵の里開発基金募集事業（基金募集委員会）

①基金募集委員会は札幌班と北広島班を設置し、札幌班は藤田理事長、松本副理事長、久保田理事、坂井（紳）理事、中村理事、菱谷理事、松尾理事とし、北広島班は伊藤副理事長、山瀬理事、近藤理事、片山理事、秋林理事、菊川理事、新発田理事、小谷理事、吉村理事、井関理事で構成し、全役員がアンビシャス基金の募集に取り組みました。

②クラウドファンディングの取り組み

基金募集を効果的に進めるためクラウドファンディングの検討を行い、2025年度早期に開始することとしました。

④ 「アンビシャス基金」の募金状況

2025年3月末現在の「アンビシャス基金」への募金状況は、下記の通りです。

・個人	476件	9,700,290円
・法人	98件	10,715,000円
合計		20,415,290円

具体的な一年間の活動状況は以下の通りです。

2024年

4月6日 会報「クラークだより」27号の発行・発送

4月12日 2023年度会計監査及び業務監査

4月13日 第1回理事会 2024年度通常総会の進め方の審議及び第4回別れの日記念パネル展の最終確認

4月17日 講演会「クラーク博士について」（ともに：28名）

4月22日「第4回 クラーク博士別れの日記念パネル展」の開催(エルフィンパーク交流広場)

～26日 協賛：「こころ奏でる・コンサート」ギター弾き語りとエアロフォン演奏

「さんちゃんと寄り添いいつか開花」ラディッシュバンド演奏

期間中の来場者：428名

4月27日 第2回理事会 2024年度通常総会議案書の最終確認

5月7日 2024年度通常総会議案書の発行・発送

5月18日 2024年度通常総会の開催

正会員数：165名、総会出席者：27名、委任状：89

2024年度通常総会議案書は、正会員の過半数の賛成をもって承認されました。

5月26日 第3回理事会 2024年度役員担当業務及び活動計画線表の審議、基金募集委員会の体制充実

5月31日 馬上像建立用地の草刈り(役員2名)

5月31日 北広島市へ2022年度事業報告書提出、市長・副市長へご挨拶

- 6月 8日 第4回理事会 基金募集委員会の定例化審議及び会報28号の検討
- 6月19日 北海道大学医学部同窓会へ基金募集リーフレット発送作業
- 6月28日 馬上像建立用地の草刈り(役員3名)
- 7月 2日 講演会「クラーク博士に思いを寄せて」(団地住民センター:出席者:35名)
- 7月 4日 道へ認定NPO法人関連2022年度事業報告書の提出
- 7月20日 第5回理事会 北広島市公益活動事業補助金募集の応募の検討
- 8月 1日 馬上像建立用地の草刈り(役員3名)
- 8月 1日 会報「クラークだより」28号の発行・発送
- 8月10日 第6回理事会 「第3回クラーク博士と音楽の夕べ」の検討
- 9月 2日 北広島市公益活動事業補助金募集のプレゼンテーション(市役所)
- 9月 4日 「第3回クラーク博士と音楽の夕べ」のチラシ・ポスター掲示依頼(札幌市・北広島市の公共機関)
- 9月 5日 北広島市商工会会長様訪問(活動状況のご説明とご協力依頼)
- 9月14日 第7回理事会 「第3回クラーク博士と音楽の夕べ」の最終審議及びバス見学ツアーの検討
- 9月23日 馬上像建立用地の草刈り(役員3名)
- 9月26日 講演会「クラーク博士と北広島」(団地住民センター:出席者:27名)
- 10月 3日 「第3回クラーク博士と音楽の夕べ」(札幌市時計台:出席者:127名)
- 10月 7日 北広島市川村副市長様訪問(活動状況のご説明と意見交換)
- 10月12日 第8回理事会 バス見学ツアー「小樽の盛衰と炭鉄港」の最終審議
- 10月21日 バス見学ツアー「小樽の盛衰と炭鉄港」(小樽市:参加者34名)
- 11月 4日 読売新聞社 西城記者取材(藤田理事長、菊川理事対応:11月24日の日曜版に記事掲載)
- 11月 9日 第9回理事会 会報29号の検討
- 12月 7日 第10回理事会 理事会の定例化について(令和7年2月以降、第二土曜日に定例理事会決定)

2025年

- 1月16日 会報「クラークだより」29号発行・発送
- 1月18日 第11回理事会 クラウドファンディングの取組及びホームページの改定の検討
- 2月 8日 第12回理事会 「第5回別れの日記念パネル展」(4/14~4/18)の検討
- 2月18日 令和6年市民協働セミナー(北広島市主催)へ参加
- 2月19日 クラーク精神普及講話(緑陽中学校2年生:35名)
- 2月20日 馬上像建立入札説明会(3社参加)
- 3月 6日 一般社団法人きたひろ観光協会会長様訪問(活動状況のご説明と協定書締結依頼)
- 3月 6日 「第5回別れの日記念パネル展」のチラシ・ポスターの発行・掲示配布
- 3月 8日 第13回理事会 パネル展のぼり、イベント用Tシャツ、像建立地看板設置及び桜植樹の検討
- 3月26日 北海道大学理事・副学長山口様(クラーク会顧問)訪問(活動状況のご説明とご協力依頼)
- 3月28日 指定NPO法人の更新申請書提出(北広島市)

2. 事業の実施内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 月日	実施 場所	延参加 人数	受益対象者の範 囲及び会員以外 の参加人数 (再掲)	事業費の 決算額 (千円)
クラーク像 建立及び久 蔵の里開発 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・馬上のクラーク博士像制作 検討委員会) ・馬上像制作入札説明会 ・馬上像建立用地の草刈り 	2/8, 2/18, 2/20, 5/31, 6/28, 8/1, 9/23,	北広島市	50人	北広島市及びそ の周辺地域の住 民 10人	46千円
クラーク精 神の普及事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へ講話実施依頼文 書発送 ・普及講話の実施(市民) ・普及講話の実施(小中学校) ・講演会の開催(時計台) ・バス見学ツアーの開催 	(2月) 4/17, 7/2, 9/26, 2/19 10/3 10/21	北広島市	300人	北広島市の生 徒・関係者及び 全道・全国の住 民、 250人	33千円
観光振興及 び活性化へ の貢献事業	<ul style="list-style-type: none"> ・クラーク博士別れの日記念 パネル展の開催 (エルフィンパーク広場) 	4/22～4/26 1月～3月 (次年度実 施検討)	北広島市	480人	北広島市及び全 道・全国の住民 430人	32千円
広報活動及 び会員拡大 活動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・会報の発行 ・ホームページの維持更新 ・ホームページのリニューアル ・会員拡大活動の推進 	4/6, 8/1, 1/16, 随時 1月～3月 随時	北広島市	3850人	北広島市及び全 道・全国の住民 3100人	142千円
基金募集事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・アンビシャス基金募集訪問 ・基金募集委員会 ・講演会の開催(時計台) 	随時 随時 10/3	札幌市、 北広島市 及び近郊 市町村	670人	全国の企業・団 体・個人等 450人	759千円

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施予定 月日	実施予定 場所	従事者の 予定人数	事業費の 決算額 (千円)
関連商品開 発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・クラーク博士及び久蔵翁にちなんだ関連 商品の開発検討 	通年	北広島市	0人	0千円